



センターWebページへ

トップ

研修講座の概要

研究発表会レポート

ライブラリ・お役立ち情報



# 青森県総合学校教育センター

## センターだより



### 特集

## 「平成19年度センター研修の展望」

当センターにおける平成18年度の研修講座も、皆様のご協力によりまして、予定の全講座を無事終了することができました。ありがとうございました。

さて、昨今の教育界は、確かな学力の定着、いじめへの適切な対応など、これまでも増して緊急課題が山積しております。

青森県教育委員会では、「平成19年度学校教育指導の方針と重点」の中で、「(5)生徒指導の充実」の中に、今、社会問題となっているいじめ等の問題行動や不登校について一層の取り組みが必要なため、いじめなどの問題行動等への対応(未然防止、早期発見、早期対応)の強化を図ることを盛り込みました。また、各学校で作成した環境教育の指導計画をもとに、教科等間の連携を踏まえたより一層の指導の工夫を図っていく必要があるため「(9)環境教育の推進」の一部を改訂して取り組むことといたしました。



副参事・義務教育課長  
種市裕章

当センターでは、教育の課題に適切に対応するために、「学校教育指導の方針と重点」を踏まえ、受講した教職員が「児童生徒一人一人が夢に向かって主体的に取り組むよう学習活動を充実させる」こと、「社会の変化に伴い学校教育に求められている課題を解決できる」ことを願って、次のように平成19年度の研修講座を編成しました。

- ・基本研修 (1) 初任者研修 (2) 新規採用者研修 (3) 経験者研修
- ・職務研修 (1) 職務研修 (2) 職務研修
- ・専門研修 (1) 教科研修 (2) 教科外研修
- ・特別研修 (1) 長期研修

さらに、これらの研修講座の研修内容、研修期間、講師、研修方法等について見直しを図り、より効果的な研修の実現に取り組んで参りますので、先生方のこれまで以上の積極的な参加を希望いたします。

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

### ハイライト:

「平成19年度センター研修」を特集します。

当センターでは、学校教育に係る喫緊の課題に対応した研修の計画的な実施とより効果的な研修の実現に取り組んで参ります。

### 目次:

平成19年度	
教職員研修講座の概要	2
講座紹介・受講者の声	2
研究発表会レポート	3
お知らせ	3
センター研究紹介	4
教育情報システム紹介	4

トップ
<b>研修講座の概要</b>
研究発表会レポート
ライブラリ・お役立ち情報

**【基本方針】**

- 1 基礎・基本を大切にする。
- 2 社会の変化に対応する。
- 3 体験的な活動を積極的に取り入れる。
- 4 学校の教育課題の解決を援助する。
- 5 特色ある教育、特色ある学校づくりを支援する。

平成19年度講座数  
205講座

\*詳細は、各校に配付される一覧表及びWebページ(3/26アップ予定)をご覧ください。

**【重点】**

- 1 学習指導要領及び一部改正の趣旨・内容を重視する。
- 2 「情報活用能力の育成」を推進する。
- 3 学校が直面している課題に適切に応える。
- 4 「指導と評価の一体化」についての内容を積極的に取り入れる。
- 5 「個に応じた指導」についての内容を積極的に取り入れる。

**特色ある講座**

202 国語科「書くこと」指導講座

2日目は、書家を講師に迎え、受講者個々の書写の技量と指導力向上を目指します。

242 数学的な見方や考え方を育てる中学校数学科教育講座

次期学習指導要領に加わる予定である「数学の方法」の授業改善について研修します。

269 高等学校理科実験講座[物理]

簡易放射線測定器による実験・実習を通じ、本県の原子力関係施設の整備・運転に伴い求められている、放射線について正しく理解することができます。

601 不登校・いじめ等対策実技講座 [Q-U] Q-Uを使った学級経営

望ましい学級の状態と、そうなるための対応について、演習を交えながら学びます。

602 不登校・いじめ等対策実技講座 [キレやすい子の理解と対応]

「なぜキレるのか」メカニズムを理解し、「キレにくい」環境を作る方法を学びます。

710 「自立活動」研修講座

筑波大学教授 安藤隆男氏を迎え、より専門的な立場からの講義をしていただきます。

814～817 マルチメディア活用講座

音声・静止画像・動画像等、主として扱うメディアごとに4講座を開設しました。

**聴講可能な講座**

講義を中心とした聴講可能な講座は、40講座です。どの講座もスペシャリストの講師を迎えております。自己の資質向上のため、是非聴講してみたいでしょうか。

また、教職員以外の方が聴講できる講座は13講座ですので、詳細は、Webページ(3/26アップ予定)をご覧ください。(義務教育課 千田雅美)

**講座紹介・受講者の声**

これまでに開催された講座の様子を受講者の声を交えて担当者が紹介します。

**「講座番号901 教科等教育長期研究講座」**

この講座は、受講した先生方が年間20日間、当センターに通って各自の教科のテーマに沿って研究を進めます。講座はおおまかに、「研究課題の設定」「計画の立案」「研究の内容(研究テーマ)と方法の構想」「検証の方法と実践」「研究のまとめ」の研究の手順に沿って進められ、1年間にわたる研究の成果は、毎年1月中旬に行われる「センター研究発表会」で発表し、長期講座研究報告(CD-ROM)としてまとめられます。

毎日の仕事に追われて思うように研究が進まないと考えている先生方にとっては、研究に取り組む絶好の機会になると思います。

なお、この講座は6教育事務所から推薦された小・中学校教諭、校長に推薦された高等学校や特別支援学校の教諭が対象となりますので、受講を希望する方は所属する学校の校長先生に相談してみてください。(義務教育課 中田孝幹)

**受講者の声**

- ・子どもたちが事象を見る目が変わったのと同じように、わたしの社会科を見る視点が変わったと思っています。自分の教員生活を振り返ってみると、今回の研究はよいきっかけになったと考えています。教材研究が深まれば深まるほど、子どもたちの学習の深まりが大きくなることを実感した研究でした。
- ・今年1年は、普段の授業を見直すよい機会になりました。普段、何げなく発問していたことや演習をさせていたことを振り返り、どうすれば生徒たちから意欲がわき上がるか、どのような力を伸ばしていけばよいのか等、改めて考えることができました。また、多くの先生方の研究を見ることもプラスになり勉強になりました。教育実習、新採用のころを思い出し、新鮮な気持ちで取り組むことができたと思います。

「講座番号709 特別支援教育コーディネーター研修講座」

06/26～27、10/11～12、01/19 開催

この講座は、小・中学校で、実際に特別支援教育コーディネーターの役割を担う先生方及び盲・聾・養護学校の先生方を対象として今年度から始まりました。内容としては、受講生各自が抱える課題を解決するために、発表・協議・演習を中心とし、前期2日間、中期2日間、後期1日計5日間で実施しました。先生方と指導主事が個別に対応して一緒に課題解決に取り組めたことや、各校の特別支援教育の取り組みに対する情報交換ができたことが、受講生にとってはとても好評で、それぞれの学校のニーズにも十分に答えることができたと考えています。

(特別支援教育課 伊藤清治)

受講者の声

- ・小グループで協議が行われ、指導主事の濃い指導を得ることができました。課題を解決するための時間も十分確保していただき、取り組むことができました。
- ・学校の組織作りのために大変参考になりました。来年度の方向性も見えてきましたし、まず、何をしなければならぬかが、自分なりに理解できました。

センター研究発表会レポート

平成19年1月11日(木)・12日(金)、当センターを会場に「平成18年度青森県総合学校教育センター研究発表会」を開催しました。

この発表会は、当センターにおける研究成果を広く教育関係者に発表し、本県の教育の向上に役立てるという趣旨で毎年行われているものです。

今年度は、2日間で39の研究発表(2研究協議含む)がありました。昨年度の55と比べると、数としては少なくなりましたが、どの発表も今日的な教育課題を研究テーマとしているため、充実した研究発表及び質疑応答になりました。

なお、39の研究発表の内訳は、以下の表のとおりです。

発表者	部会	教科教育	特別支援教育	情報教育	教育相談	計
指導主事		2	1	1	1	5
研究員		0	1	2	6	9
長期研修受講者		12	3	4	6	25
計		14	5	7	13	39

1日目の午後には、「21世紀の地球環境とエネルギーを考える」というテーマで、慶應義塾大学大学院の金谷年展助教授の講演がありました。前県立保健大助教授で、本県の環境・エネルギー産業創造特区構想の仕掛け人でもある金谷先生が、環境・エネルギー分野における本県のポテンシャルの高さについて熱く語り、青森県人として元気をもらうことができました。

参加者は、学校教職員88名、小・中学校10年研256名、長期研修受講者37名など、2日間で延べ850名以上となりました。県内各地はもとより遠く福井市からの参加者もありました。例年に比べれば穏やかな青森の冬でしたが、それでも1日目はあいにくの吹雪模様でした。参加なさった先生方、本当にありがとうございました。来年度もぜひ参加してください。

(教育相談課 笹日出美)

お知らせ

～平成19年度 研修講座案内 Webで公開します～

平成19年度研修講座案内を当センターWebページから次のように公開します。

公開日 平成19年3月26日(月)

URL <http://www.edu-c.pref.aomori.jp/>

(特別支援教育課 成田光順)

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」



特別支援教育コーディネーターガイドブック第2集  
青森県教育委員会編  
(講座テキスト)

トップ

研修講座の概要

研究発表会レポート

ライブラリ・お役立ち情報



センター研究発表会(全体会)

平成19年度Web研修講座案内



<http://www.edu-c.pref.aomori.jp/>



平成19年3月1日(木)に、「青森県総合学校教育センター2年研究員研究経過発表会」が行われました。この発表会は、当センター2年研究員の1年目の研究を振り返るとともに、これまでの研究の進め方の妥当性を確認し、今後の研究の方向性や課題を明らかにするために行うもので、毎年行われているものです。

今年度は、以下のように9人の研究員の発表がありました。その研究主題を紹介します。

**義務教育課**

- 「社会的な事象を多面的にとらえることができる子どもの育成」  
- 関連付けて考える場を取り入れた社会科の指導を通して - 研究員 澁谷 隆行
- 「説明的文章における読むことの高める学習指導の研究」  
- 読み取った情報を生かす指導を通して - 研究員 乳井 秀樹
- 「英語の語いを確かに習得する生徒を育てるための指導法の研究」  
- 未知語の推測を通して - 研究員 花田 歩美
- 「『自ら考え、自ら問題を解決していく資質や能力を高める』ための指導法の研究」  
- 光の学習における個やグループの発想を生かした実験の工夫を通して - 研究員 小野寺 良治

**特別支援教育課**

- 「特別な支援を必要とする児童への集団随伴性操作による指導」 研究員 工藤 誠

**産業教育課**

- 「主体的に課題を解決する生徒を育てる指導法の研究」  
- 教育の情報化に焦点を当てて - 研究員 櫻井 裕輝
- 「校務におけるコンピュータの活用」  
- 効率化と共有化をめざして - 研究員 佐々木 崇

**教育相談課**

- 「『暴力』『いじめ』を予防する支援の在り方についての研究」  
- アンガーマネジメント・プログラムの実践を通して - 研究員 中村 光博
- 「通常の学級において特別な教育的支援を必要とする児童の予防・開発的支援の研究」  
- 個別的教育支援計画に沿ったコンサルテーションを通して - 研究員 扇谷 欣展

(特別支援教育課 伊藤清治)

- トップ
- 研修講座の概要
- 研究発表会レポート
- ライブラリ・お役立ち情報**



2年研究員研究経過発表会

お役立ち情報 ~ 教育情報システムの紹介 - 利用者IDとパスワード - ~

当センターでは、多くの教職員に利用していただけるように教育情報システムを整備し、インターネットを介して各種教育情報を提供しております。このシステムの利用には、利用者IDとパスワードが必要になりますが、今年1月に県内公立小中学校に利用者IDと関係資料を送付して、教職員の皆さんへの周知と積極的な活用・情報登録のご協力をお願いしています。また、県立学校の教職員については、県立学校課から通知されるASNメールアドレスのアカウントとパスワードで利用できるように設定しています。

この利用者IDは、採用されてから退職までご利用していただくものとして、教職員ひとりひとりに割り当てています。一般に、利用者IDを盗み見されたり、書き写しなどにあったとしても、付随するパスワードがわからなければ、その利用者IDで可能な利用権が使用できず、それほど問題はありませぬ。しかし、利用者IDと共にパスワードも知られてしまうと、利用者IDを不正利用される危険性があります。現在は、不正アクセス禁止法でこれらの行為は禁止されておりますが、パスワードの管理には十分注意してください。

なお、利用者IDをはじめ教育情報システム等についてのお問合せには、産業教育課 隅田・幸山がお応えしています。

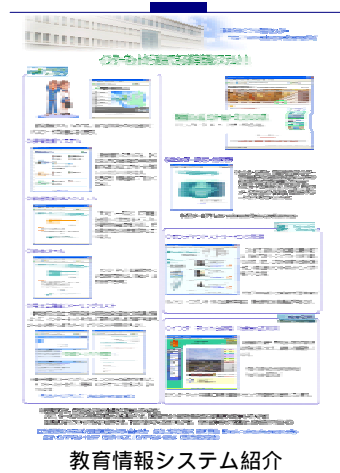
問合せ先

産業教育課 隅田・幸山 E-mail : uketsuke-em@asn.ed.jp TEL : 017-764-1994

編集後記

近頃、「~の力量」という言葉をよく聞きます。これは「~の能力の程度」といった意味になりますが、教員のICT活用指導力の基準の公表など、さまざまな力量の具体化・明確化が進んでいます。

さて、教師の力量アップのための努力は十分なされているでしょうか。教師として、高く広いアンテナを張り巡らし、日頃から物事について深く考えたり調べたりして真理を明らかにする研究や、人格を高める努力が求められています。本号の特集「平成19年度センター研修の展望」や近く公開されるWeb研修講座案内などが参考になればと思います。(広報委員会 幸山勉)



教育情報システム紹介

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」